

令和元年度 日南市立鶺戸小中学校 自己評価及び学校関係者評価の報告

4段階評価： 4達成した 3ほぼ達成した 2やや改善を要する 1改善を要する

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己 評定	外部 評定	外部評価コメント
【知】 確かな学力を身に付けさせます。	1 ◎基礎・基本を確実に習得させます。	○ 1、2学期にそれぞれ1回ずつ公開授業を実施し、グループ協議することで授業改善を図ることができた。 ○ N I E活動の充実を図り、読解力の向上に努めた。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が生き生きととても楽しそうに学習しているのうらやましく思う。先生方が、児童生徒が興味関心をもつよう工夫して授業に取り組んでいるおかげだと思ふ。 ・ 授業にデジタル教科書等を取り入れて、児童生徒が分かりやすいように授業を組み立てられている。少人数を生かし、分かりやすい授業や個別指導に取り組み、成果を上げていると思う。 ・ 処平塾や合唱団への参加は少人数である鶺戸小中学校にとっては貴重な体験である。少人数でコミュニケーション不足になりがちなので、学校の外に出て学ぶことは大切である。これからも学校外に出て学ぶ機会を多く設けてほしい。 ・ 新聞に児童生徒の作品が多く掲載されている。鶺戸小中学校の名前を見つけるととてもうれしい。地域の方もとても楽しみにしていて、元気をもらう取組なのでこれからも続けてほしい。 ・ いろいろな作品が広報、新聞やラジオで紹介されている。学校が丁寧に指導し、多くの作品を出品している成果だと思ふ。 ・ たいよう号が来たときに先生方が児童に利用を呼びかけている。児童が借りやすい雰囲気をつくり、積極的に借りている。読書量の増加につながっていると思う。
	2 ◎家庭学習の習慣化を図ります。	○ 課題の点検や自主学習の内容の確認をして、個別に指導することができた。 ○ 家庭学習が充実するような仕掛け、工夫が必要である。			
	3 ◎英語・漢字・数学等各種検定試験に積極的に挑戦させます。	○ 受検料の個人負担が大きくなったため受検者が減少した。 ○ 受検した児童生徒については成果を上げることができた。			
	4 ◎ICTを活用した授業の実践を図ります。	○ デジタル教科書など I C Tを活用して、授業に取り組むことができた。 ○ テレビが故障し、台数が少なくなったことでデジタル教科書を使いづらくなった。			
	5 ◎読書活動を積極的に推進します。	○ 小学部ではたいよう号を活用する児童が多く、よく本に親しんでいる。 ○ 中学部でビブリオバトルの参加を工夫するなど啓発が必要である。			
	6 ◎市主催の市塾などへの参加を促し学ぶ機会を提供します。	○ 処平塾で市教委のスクールバスを手配し、全教科に参加できる環境をつくることができた。 ○ 小学部児童が合唱団に参加するなど、市の取組に積極的に参加している。			
【徳】 豊かな人間性を育てます。	1 ◎道徳教育を充実させます。	○ 命の大切さを考える集会、人権集会に工夫を凝らし、豊かな心を育むことができた。 ○ 特別の教科道徳の時間を工夫し、さらなる充実を図る必要がある。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活で児童生徒の絆が見られ、つながりが強いと感じる。とてもよい雰囲気の中で学校生活を送り、一人一人を大切にしながらよく過ごしている。 ・ 9年生が保育園で園児と過ごしているのを見かけた。素晴らしい対応で子どもたちに優しく接していた。鶺戸小中学校の生徒は小さい子どもたちと遊べるし、お年寄りにも優しく接することができる素直な生徒であると思う。学校での取組の成果で児童生徒の思いやりの心、豊かな心が育てられている。 ・ 神楽や祭りなど地域の行事に積極的に参加している。地域とのつながりが強く、地域で子どもを育てている。また、地域コーディネーターと連携することで学校と地域がつながり、地域と協力して学校行事を行うことができています。
	2 ◎体験的活動を推進します。	○ 地域コーディネーターと連携し、地域と協力して体験的活動を充実させることができた。 ○ ボランティア活動は児童生徒が主体的に活動できる工夫が必要である。			
	3 ◎進路指導の充実を図ります。	○ 高校説明会など進路に対する意識を高める手立てをとることができた。 ○ 9年間を見通したキャリア教育の充実を図る必要がある。			
	4 ◎教育相談体制の充実を努めます。	○ 巡回相談員や関係機関と連携し、教育相談体制の充実を図り、個別に対応することができた。 ○ 児童生徒や保護者の相談に丁寧に対応し、早期解決を図った。			
【実践】 自主的な健康づくり	1 ◎健康教育を推進します。	○ フッ化物洗口や弁当の日等が計画的に実施され、保健だより等で家庭に啓発することができた。 ○ 肥満に対する指導について工夫改善が必要である。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が全員一輪車に乗れるのに感心した。昼休みにほとんどの子どもがグラウンドで元気よく、楽しく遊んでいる。体力の向上にもつながっていると思う。 ・ 欠席が少なく、基本的な生活習慣が身についており、健康に元気に過ごしているのがよい。 ・ 給食の残食が少なく、しっかりと食べること、食に関する指導ができています。 ・ 部活動に熱心に取り組み、県大会に出場したり、日南市の選抜選手に選ばれたり活躍している。 ・ インフルエンザにも罹っておらず、家庭でも健康管理がしっかりとっている。学校からの情報提供や指導のおかげだと思ふ。
	2 ◎健康に対する自己管理能力を高めます。	○ けがが多かったが、運動に積極的に取り組み、課題が見られた項目の強化を図ることができた。 ○ 家庭との連携を図り、さらに基本的な生活習慣の定着を図る必要がある。			
	3 ◎食に関する指導を充実させます。	○ 弁当の日を工夫改善し、充実させることで食に対する意識を高めることができた。 ○ 肥満予防につながる食に関する指導について今後も力を入れていく必要がある。			
	4 ◎部活動の改善に努めます。	○ 部活動運営委員会を実施し、学校の方針に従って効果的・効率的な部活動の運営に努めることができた。 ○ 部員の減少や水泳、合唱など多岐にわたる活動について課題を整理し、今後の部活動運営について検討する必要がある。			
【環境】 教育環境を整備	1 ◎安全な学校にします。	○ 定期的に安全点検を実施し、危険箇所等について早期に対応することができた。 ○ 自衛隊に依頼し、地域の方に参加していただくなど、避難訓練を工夫し防災意識を高めることができた。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練で学校が工夫して実施することで、児童生徒の意識も高まっていると思う。自衛隊に依頼した訓練では地域の方も参加し、意識が高まった。実際に救助について体験することで、児童生徒は自分の命を守ることの大切さを学んだと思ふ。 ・ 学校が中心になって取り組んだ花いっぱい運動で児童生徒と地域が協力して準備した花が地域に配られ喜ばれている。 ・ 伊比井・富士間のトンネル工事で現在は工事関係者が道路の横断について安全確認をしてくれているが、開通後の横断について心配である。富士では死亡事故が過去にも起こっているため今後の対策を考える必要がある。
	2 ◎校舎内外の美化に努めます。	○ 少ない人数で計画的に清掃に取り組むことはできたが、細かいところまで行き届いていない。 ○ 花がない時期があり、予算執行を含め、計画的に運営する必要がある。			
	3 ◎事故のない環境を作ります。	○ 交通事故等大きな事故等は合う児童生徒はいなかったが、けがが多く見られた。 ○ 危険箇所を早期に改善し、事故・けが防止に努めた。			

<p>1 本年度の取組について</p> <p>「分かる・できる」授業を目指し、すべての教職員が年2回の授業公開を実施し、4人グループでそれぞれ意見交換し、授業力向上を図った。また、N I Eの取組を充実させ、読解力向上に努めた。いきいきふれあいサロンへの参加、地域の祭りでの歌や踊りの披露など、地域に貢献し豊かな心を育むことができた。体力向上プランや食育を通し、児童生徒、保護者の体力向上や健康への意識を高めることができた。避難訓練で地域の方に参加していただいたり、自衛隊や消防署の方に協力していただいたりすることで防災意識を高めることができた。校内の安全点検を実施し、危険箇所等の整備に迅速に対応した。</p>
<p>2 次年度への改善に向けて</p> <p>「学力向上」や「読解力向上」への研究を継続しながら、学習指導要領の改訂の理念の理解や外国語導入、プログラミング学習など改定した事項に対し、具体的な手立てを考え研究を進める。特別な教科道徳や総合的な学習の時間の充実を図り、豊かな心を育み、児童生徒に「生きる力」を身に付けさせる。基本的な生活習慣の定着や生徒指導の充実を図り、関係機関との連携を図りながら組織的に対応し、積極的な生徒指導を心がける。様々な状況を想定した避難訓練を実施し、防災への意識を高め、地域との連携を図る。</p>

